

(工作物(鉄柱、広告板等)対象)

工事施工状況報告書

(建築基準法第12条第5項、大和市建築基準法施行細則第19条)

(第一面)

年 月 日

建築主事 あて

下記に関わる工事の施工結果について次のとおり報告します。

なお、確認申請図書と照合した結果、
変更は有りません。
変更が有るので、別添のとおり報告します。

報告者	<input type="checkbox"/> 工事監理者	住所 資格 () 級建築士 () 登録 () 号 事務所名 () 級建築士事務所 () 知事登録 () 号 氏名 (印)
	<input type="checkbox"/> 工事施工者	住所 資格 建設業の許可 大臣・知事 () 号 会社名 氏名 (印)
築造主	住 所 氏 名	
工事概要	工事名称 確認済証 年 月 日交付 第 号 築造場所 大和市 工作物の種類 () 工作物の高さ () m 工作物の構造 ()	

(注意事項)

- 完了検査申請時に提出して下さい。又、確認申請図書と照合した結果、変更が有る場合は報告して下さい。
- 下記に示す工事写真等を添付して下さい。
 - 工事写真 ①基礎及び立上り部分の配筋(鉄筋径、間隔がスケール等で確認できるもの)
②アンカーボルトの埋込み状況(本数、定着長さが確認できるもの)
 - 建築主事が必要と認めるもの ()
- 該当する部分の□にチェックをして下さい。
- 施工状況及び工事監理結果について第二面(裏面)に記載して下さい。

(第二面)

No	確認項目	仕様・施工状況				結果	備考
1	基礎工事	地盤の許容応力度 () KN/m ² 地盤の許容応力度の確認方法 ()				適・不適・該当無	令 38 告 1113
		くい基礎の場合 ・工法 () ・代表されるくいの全長 () m ・代表されるくい径 () mm ・くい位置偏心 (芯ずれ) の最大寸法 () mm ・支持層の確認方法 ()				適・不適・該当無	
2	鉄筋工事	主筋の品質 <input type="checkbox"/> JISG3112 に定める鉄筋コンクリート用棒鋼 <input type="checkbox"/> その他 ()				適・不適・該当無	法 37 告 1446
		底版主筋の配筋 ・種類 径 () mm <input type="checkbox"/> 異形棒鋼 <input type="checkbox"/> 丸鋼 ・間隔 () mm				適・不適・該当無	—
3	コンクリート 工事	設計基準強度 () N/mm ² スランプ値 () cm				適・不適・該当無	法 37 告 1446
		かぶり 厚さの 最小値 (cm)	部位	土に接する 部分	土に接しない 部分	適・不適・該当無	令 79
			底版				
			立上り部分				
底版の配置、寸法、及び、立上がり部分の配置、寸法				適・不適・該当無	—		
4	鉄骨工事	主な鋼材の種類 () <SS400 等> 溶接の種類 <input type="checkbox"/> 突合せ <input type="checkbox"/> すみ肉 接合部 <input type="checkbox"/> 溶接 <input type="checkbox"/> 高力ボルト <input type="checkbox"/> ボルト				適・不適・該当無	法 37 告 1446
		溶接部の強度確保 溶接部の割れ、内部欠陥、食い違い等 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				適・不適・該当無	令 67 告 1464
5	その他					適・不適・該当無	
						適・不適・該当無	
						適・不適・該当無	

(注意事項)

- 該当する部分の□にチェックをして下さい。
- 仕様・施工状況欄の () の部分を記入して下さい。又、施工結果の適合・不適合について結果欄の「適・不適・該当無」の該当するものに○印を付けて下さい。不適合の場合は是正措置を報告して下さい。